

かけはし2



No. 12
2022. 7 月

■事務所 〒875-0041 臼杵市大字臼杵72番地の47 TEL・FAX 0972-83-5911 E-mail hazime.ast8@gmail.com



今回の一般会計補正予算は、原油高や物価の高騰で生活に困窮する県民や中小事業者への支援策が盛り込まれています。財源は国の支出金が50億1667万円で、県の基金から2407万4千円を繰り入れるなどして、補正総額は50億4874万4千円。

主なものとして、「生活福祉資金貸付事業」に1億1719万5千円。これは、物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援をするため、緊急小口資金等の特例貸付を実施するための貸付原資等の補助です。また、

2022年の第2回定例会(6月県議会)が、6月14日から29日までの16日間の会期で開会されました。今回は、物価高対策として、私立幼児教育・保育施設の給食費や公共交通機関の運行経費などに、幅広く支援するとしています。

2022年第2回定例会 物価高対策に50億円の補正予算

食材費が高騰する中、給食費等の値上げの抑制と保護者の経済的負担軽減のため食材費増加分を支援するための「給食等負担軽減緊急支援関連事業」に9658万円。感染症や物価高騰の影響を受け家計が急変した世帯を支える「高等学校授業料支援関連事業」に1523万9千円を当てます。

その他にも、コロナ禍と燃料費高騰で厳しい経営状況の地域公共交通事業者への支援として、乗合バス等の運行に必要な経費の助成を行う「地域公共交通燃料高騰緊急支援事業」や、燃油価格高騰下での園芸農家の経営安定のため省エネ機器導入の支援拡充を行う「施設園芸燃油価格高騰緊急対策事業」、また輸入に依存する小麦の生産拡大を図るための団地化や営農技術・機械の導入支援のための「小麦産地生産性向上緊急対策事業」など、幅広く対応できる補正予算となっています。

◎主な補正事業の内容◎

生活者支援に関する事業

〈生活福祉資金貸付事業〉……………1億1,719万5千円
緊急小口資金等の特例貸付を実施する県社協へ貸付原資等の補助。

- 緊急小口資金(回数1回)上限20万円以内 無利子
- 総合支援資金(期間原則3か月以内)
月20万円以内(2人以上)
月15万円以内(単身) 無利子

〈生活困窮者自立支援事業〉……………806万2千円
物価高騰等に直面する生活困窮者等の生計等の維持を図るため支援金を支給。

- 支給額 単身世帯…6万円、2人世帯…8万円
3人以上世帯…10万円

〈給食等負担軽減緊急支援関連事業〉……………9,658万円
給食費等の値上げを抑制し保護者の負担軽減のため、学校等に食材費増加分を支援。

- 私立幼児教育・保育施設(638施設)
- 私立小学校(1校)
- 県立特別支援学校、定時制高等学校(14校)
- 子ども食堂(89施設)

〈高等学校授業料支援関連事業〉……………1,523万9千円
保護者の経済的負担軽減のため家計急変した世帯に授業料支援を実施。

- 高等学校…
世帯年収590万円未満となる家計急変世帯
- 高等学校専攻科…
世帯年収380万円未満となる家計急変世帯

事業者支援に関する事業

〈物価高騰対応中小企業等業務改善支援事業〉……………8億2,800万円

物価上昇の中で生産性を向上させ賃金を引き上げる中小企業等を支援。

〈地域公共交通燃料高騰緊急支援事業〉……………1億7,991万6千円

燃料費高騰により厳しい経営状況にある地域公共交通事業者の事業継続を支援するため、乗合バス等の運行に必要な経費を助成。

〈施設園芸燃油価格高騰緊急対策事業〉……………2億円

燃油価格高騰下における施設園芸農家の経営安定を図るため、省エネ機器(ヒートポンプ、多重被覆等)導入への支援を拡充。

〈小麦産地生産性向上緊急対策事業〉……………3,800万円

輸入に依存している小麦の生産拡大を図るため、団地化や営農技術・機械の導入等を支援。

第2回定例会一般質問に立ちました

福祉保健・教育・平和に重点を置き質問しました

一、今後の認知症政策について

【問】今後は、高齢者のうち認知症の方が占める割合が5人に1人以上になると推計されている。認知症は誰もが関わる可能性がある。白杵市は2021年9月に認知症に関する条例を制定した。県でも「認知症フレンドリー社会」の実現をめざして、条例制定を含めた取り組みを進めるべき。今後の認知症政策について知事の見解を伺う。

【知事】認知症は、誰もがなりうるものであり、認知症の方とその家族が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる社会を実現していかねばならない。白杵市が制定した認知症条例は、共生のまちづくりを加速するものと大いに期待するところ。県においても、おおいの高齢者いきいきプラン」の基本方針の一つに認知症施策の推進を掲げ、認知症への理解を深める普及啓発



と社会参加の促進、認知症予防やセルフチェック等の積極的活用を促している。これらの取り組みの進展を見てから条例化等について検討したい。

二、日出生台米軍実弾射撃訓練について

【問】今回の米軍実弾射撃訓練は、実施時期の変更、訓練公開の一方的中止、地元住民への説明会に米軍側が欠席するなど、今後に大きな不安を残した。また実弾射撃数も最多なうえ、訓練後に米兵が自由に外出するなど治安面でも問題を残した。日出生地区は、米軍訓練に伴って導入された国の住宅移転補償措置によって、この20年で人口が半分になった。小学校も休校となり、今後ますます過疎化が進む。地域を守り訓練拡大をさせないため、どう取り組むつもりか知事に伺う。

【知事】日出生台演習場での米軍実弾射撃訓練は、沖縄基地負担軽減のため、苦渋の決断で受け入れたもの。今回は、訓練規模は大きかったが、人員数、砲門数及び車両数、訓練日数や時間等は協定の範囲内。事故や事件の報告もなく終了した。事前説明会への欠席や訓練公開の中止は強く抗議した。米軍外出については、九州防衛局に治安・安全対策に責任をもって対応するよう文書で要請した。県の基本スタンスは、将来にわたつての訓練の縮小・廃止であり変わりはない。

三、子どもの難病

①「付き添い入院」について

【問】小さな子どもが難病などで入院する場合、家族が「付き添い入院」する

ケースが多い。付き添いも、残った家族も多くの不便を強いられている。県は、子どもの付き添い入院に係る家族負担の現状をどう把握し、どのような支援が必要と考えるか福祉保健部長に伺う。

【福祉保健部長】付き添い入院の際の困りごととして、宿泊費用や宿泊先の確保、きょうだい児の世話に関することがあげられている。大分大学医学部付属病院は安価で宿泊できるファミリーハウスが運営されている。県立病院では、簡易ベッドの無料貸し出しや家族控室を利用できる体制を確保している。九州大病院では3か所のファミリーハウスが運営されている。今後も、情報をしっかりと届け、安心して治療に臨める環境づくりに努める。

②教職員の休暇制度について

【問】ある学校の先生のお子さんが長期入院したが、市教育委員会は介護休暇の要件に該当しないと認めなかった。その方は、半年近く勤務先と病院を朝夕往復した。教職員が過度に疲労しては、子どもたちに十分に向き合うのは困難。介護休暇の運用を見直すなど柔軟に対応できないか教育長に伺う。

【教育長】介護休暇の対象は、介護対象者の食事や排せつ、リハビリの介助といった直接介護で、子どもを含め入院中の付き添いは全国的にも介護休暇の対象とされていない。現在、介護や育児と仕事の両立に向け、国レベルの法制度の見直しが行われているので注視したい。

【問】子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨の再開について

【問】子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）は持続的副作用から、これまで積極的勧奨は差し控えられてきたが、今年4月から再開された。適切な情報提供はなされているのか。また、学校現場を通じたワクチン接種の勧奨は保護者に誤解を与える。希望制の趣旨を徹底するなどHPVワクチン接種再開に対する県の取り組みを伺う。

【福祉保健部長】県内では平成30年に123人が罹患し死亡者は25人。副反応疑いは8件報告されているが、健康被害と認定されたものはない。最新の知見では1万人のうち約70人の発症を予防し約20人の命が救われると試算。一方、副反応の頻度は1万人あたり重篤者6人と、接種の有効性がリスクを上回っていると勧奨が再開された。予防接種は学校を経由することなく、市町村から対象者に直接正確な情報提供に努めている。

四、多様性を認め合う

①県立高等学校の制服について

【問】学校現場の、当たり前が見直されている。制服もその一つ。県立高校の制服もブレザーや女子もスラックスを選択できる学校が増えている。さらに一歩踏み込んで、制服と私服のどちらも選択できるようにしてはどうか。生徒や保護者の意見や要望を尊重した上で、学校で判断するのが望ましいと思うが教育長の見解を伺う。

【教育長】全日制の高校でも学校行事の際に制服以外の服装を許可している場合がある。女子の制服は、スカ

水路の破損

すぐに対応

前県議会議員の久原さんから、野津町落谷にある国道 10号線沿いの田圃の水路が破損して、水漏れして畦が落ち込んでいたので見に来て欲しいと連絡がありました。

早速、現地を確認した後、臼杵土木事務所や臼杵市の農林基盤整備室に連絡して対応を検討してもらいました。幸い整備室の対応が早く、国土交通省の担当者に現地確認をしてもらい、早急に処置してもらったことになりました。



も生活に密着した困りごとに素早く対応できること、それが大事だということに改めて気づかされました。



はじめの活動日誌

4月

- 15日 会派政策企画会議(県民クラブ)
政策検討協議会(議会運営委員会室)
- 17日 臼杵市議会議員選挙告示
- 18日 一般質問者打ち合わせ(県民クラブ)
- 20日 文教警察委員会(第2委員会室)
- 24日 臼杵市議会議員選挙投票
- 26日 福祉保健企画課への聞き取り調査

5月

- 2日 臼杵土木事務所・市役所建設課へ
道路に張り出した竹林伐採の件で調査依頼
大分教育事務所長との面談(大分教育事務所)
- 10日 文教警察委員会所管事務調査(豊肥)
- 11日 「認知症条例」について臼杵市高齢者支援課から
聞き取り調査(臼杵市役所)
- 16~17日 文教警察委員会所管事務調査(中部)
- 19日 臼杵市内の医師に認知症条例制定までの
経過等についての聞き取り調査
- 23~24日 マクドナルドハウスふくおか視察(福岡市)
- 25日 一般質問打ち合わせ(県民クラブ)
- 26日 文教警察委員会所管事務調査(東部)
- 29日 「こんばんはⅡ」上映とトークセッション(アイネス)
- 30~31日 文教警察委員会所管事務調査(北部)

6月

- 7日 九州中央3県議連総会(議会運営委員会室)
議案説明会・議員団会議(県民クラブ)
- 7~8日 立憲ネットワークおおいた水俣市視察
(熊本県水俣市)
- 9日 野津町落谷の水路破損調査・
臼杵市農林振興課へ調査依頼
- 10日 農林振興課の水路調査の立ち会い(野津町落谷)
- 14~29日 第2回定例会(県議会本会議場)
- 21日 臼杵市認知症サポーター養成講座(臼杵市役所)



たけやま

6月は県議会があつたためか、あつたという間に過ぎてしまった感じがです。世間は日常生活を取り戻しつつありますが、コロナはもう大丈夫なのか。梅雨が短期間で終わり、これから暑い日が続くように、電気不足が言われていますが、水不足はどうなのか。暑すぎて、これまでなかったような超大型で強力な台風が来ないのか。考え出すとキリがありませんが、備えあれば憂なし! いざという時をいつも心がけておきたいものです。



ホームページにご意見、ご要望などお寄せください

最新の議会情報に会報「かけはし2」や様々な調査等々、掲載しています。皆様からのご意見やご要望なども受け付けています。よろしくお願いたします。

【ホームページアドレス】

<https://hajime-takahashi.jp/>

QRコードはこちら→



【県民クラブHPはこちら】

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>